

# 秋田県社会福祉士会 活用ガイド 2026



こめっぺ

# 社会福祉士とは、社会福祉士会とは

社会福祉士は、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識および技術をもって社会福祉に関する相談援助を業とする名称独占の国家資格です。

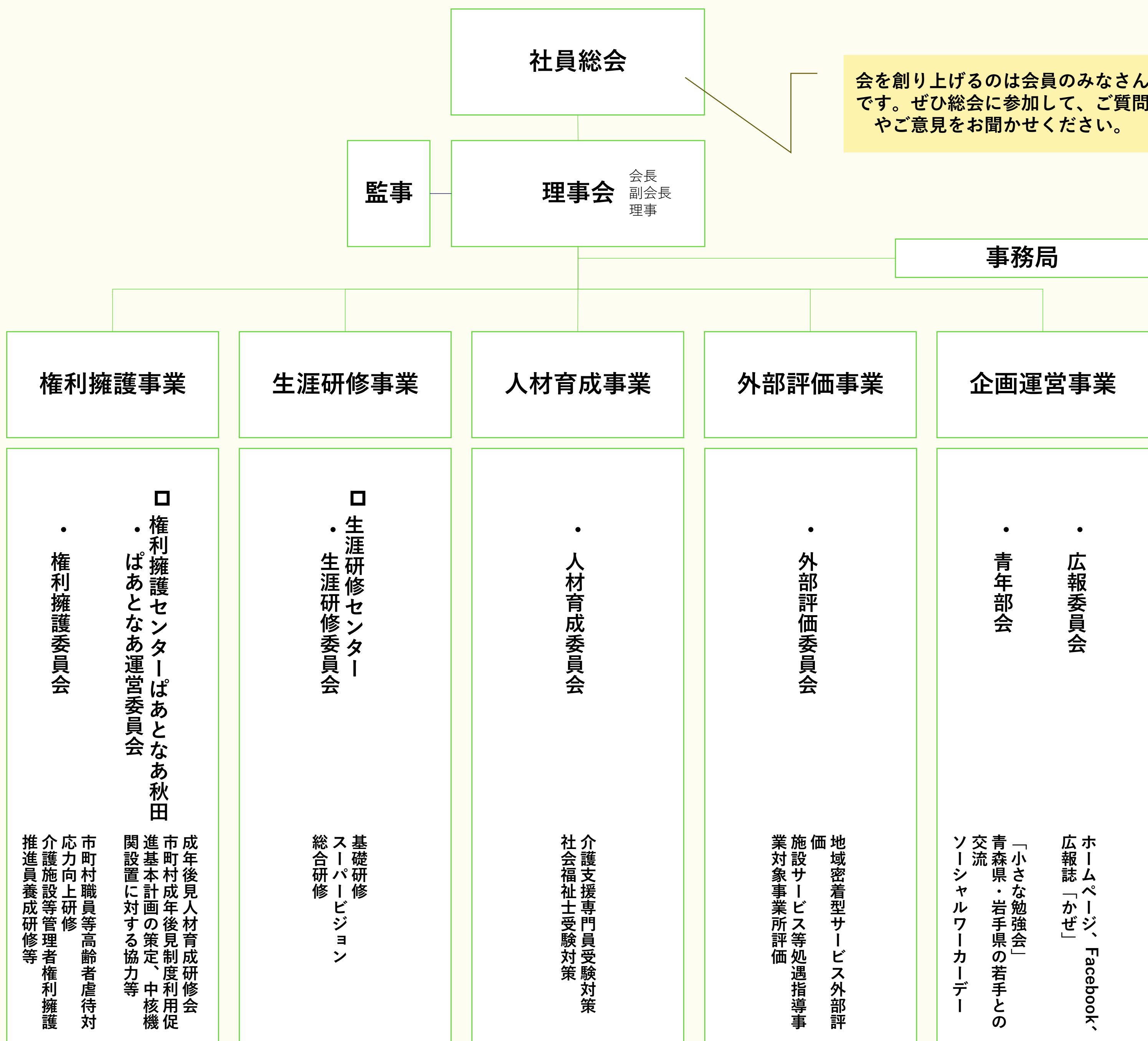
近年、福祉ニーズの変化等に伴い、社会福祉士の活躍の場は、高齢者支援、障害児・者支援、子ども・子育て支援、生活困窮者支援といった分野のみならず、教育や司法などのさまざまな分野に広がっています。

また、社会福祉士は、個別の相談援助のほか、自殺防止対策、成年後見制度の利用支援、虐待防止対策、矯正施設退所者の地域定着支援、依存症対策、社会的孤立や排除への対応、災害時の支援、多文化共生、LGBTQの理解促進など、幅広いニーズに対応しています。

今後の、地域住民や多様な主体が支えあい、一人ひとりの暮らしと生きがい、そして「地域共生社会」の実現に向けては、社会福祉士が「ソーシャルワーク」の機能を発揮していくことが求められます。ソーシャルワークの機能としては、権利擁護、代弁、エンパワメント、支持・援助、仲介・調整・組織化、社会資源開発・社会開発などがあげられますが、ソーシャルワークの専門職である社会福祉士は大きく期待されているところです。

秋田県社会福祉士会は、①ソーシャルワーク専門職としての資質向上 ②会員相互の親睦と交流による連携促進 ③事業実施による秋田県民の福祉の向上 を目的とし活動しています。

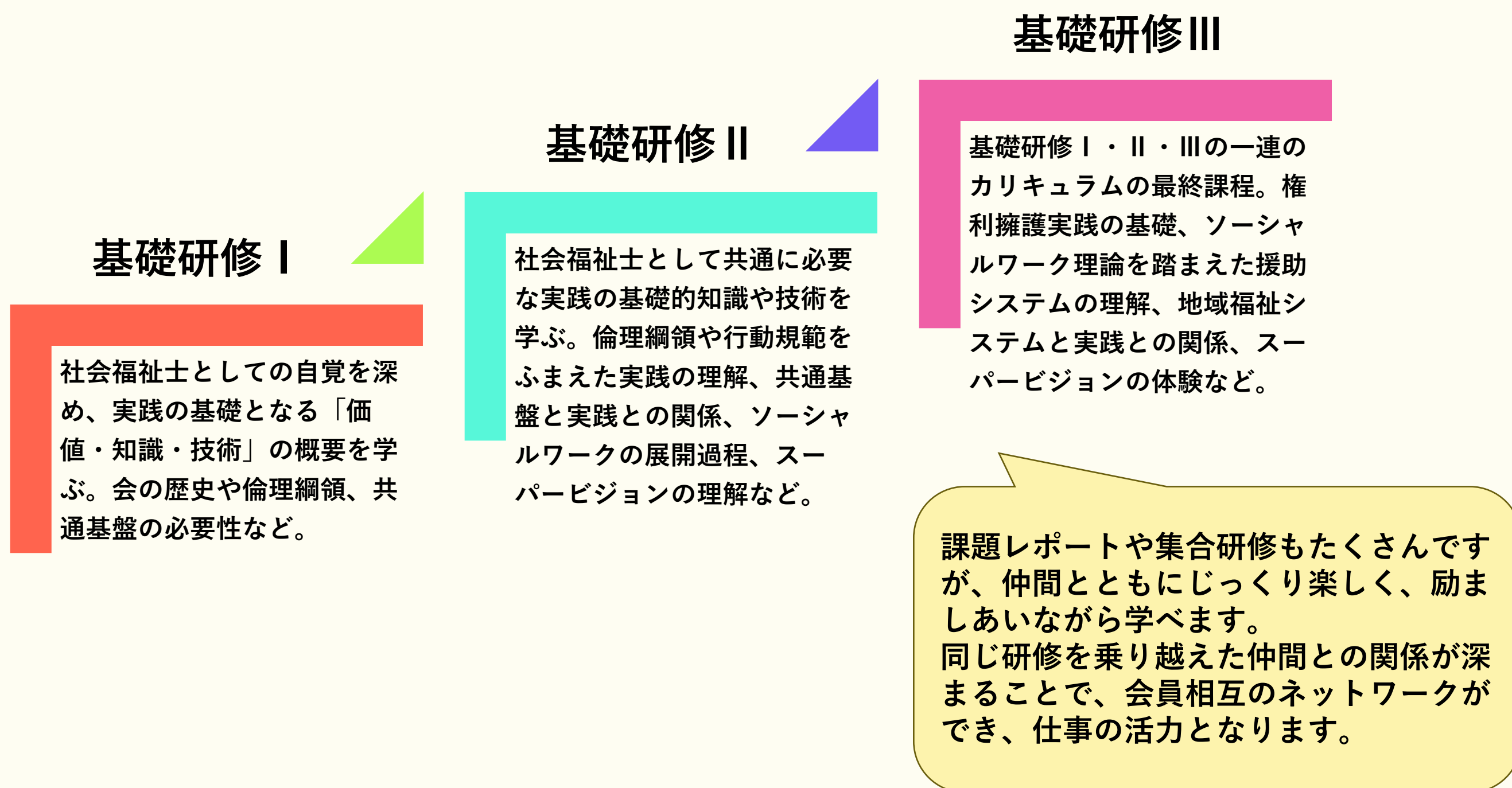
## 秋田県社会福祉士会の組織・事業



## 研修に参加してみよう（基礎研修）

全国の社会福祉士会共通の「生涯研修制度」は、社会福祉士である会員が段階的・計画的なスキルアップを目指して自己研さんを積んでいくことを支援する制度です。

「生涯研修制度」の課程は、【基礎課程】と【専門課程】から構成されています。【基礎課程】は、入会して最初に受けていただきたい研修です。基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの三つの研修から構成され、社会福祉士として必要な基礎知識を3年間かけて学んでいきます。



## 認定社会福祉の研修単位が取れます

基礎研修Ⅰ～Ⅲまでを、Ⅰの初回年度から6年度以内に修了することで、認定社会福祉士の認定申請に必要な共通専門課程10単位が取得できます。

本会の専門研修のなかには、基礎課程の修了が受講要件となっているものもあります（**成年後見人材育成研修**など）

## 小さな勉強会 について

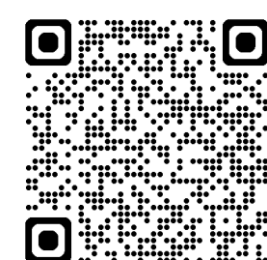
青年部会は、別名「わか」といいます。「輪」「和」をイメージするこの会は、ゆる〜く、楽しく、つながりあうことを目的として活動しています。小さな勉強会を開催しており、懇親会も行うことが多いです。青森県や岩手県の若手福祉士との交流の機会もあります。

「自称青年」であれば、年代問わず参加できます。これまでも、50代60代の会員の方（気持ちは若々しい）も参加してくれた実績があります（笑）

## 全国大会、北海道・東北ブロック研修大会 について

**2026年7月4日（土）5日（日）に青森市**にて、「第34回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（青森大会）」を開催されます。秋田県からも会員が多数参加する予定です。プログラム・申込等は日本社会福祉士会ホームページ（下QRコード）から申し込みページへと進んでお申し込みください。

また、毎年持ち回りで、北海道・東北ブロック研修大会も開催されています。2026年度は、上記全国大会が北海道・東北ブロック研修大会に充てられており、同時開催となります。





一般社団法人  
秋田県社会福祉士会